

かぼちゃのおばけ



作 おかっぴ



あるひのこと

とおいくにから かぼちゃの おばけが やってきました。

にほんの こどもたちを こわがらせてやるためです。

あかりのついている いえを みつけたので

かぼちゃのおばけは どあを たたきました。



どあがくと かぼちゃのおばけは

「おかしを くれないと いたずらしちゃうぞー」

と さげびました。



「知らないひとから ものを もらっちゃ だめなんだよ」

おとこのこは どあを しめてしまいました。

「もらうのは おまえじゃない！ わたしだぞ！」

なにをいっても おとこのこは しらんかお。



ちっとも こわがってくれないので

かぼちゃのおばけは こまってしまいました。

すると ねこが やってきました。

「たすけてあげようか」

「おまえは さっきのいえの ねこだな。」

なぜ わたしを たすけるのだ」

「だって おもしろそうだもん」



「にほんの おばけは かさをかぶったり しろいきものを
きてるの。おどかしたいなら まねすれば？」

というと ねこは かえっていきました。

「なるほど。

かさと しろいふくか」



そのころ おとこのこが ひとりで ほんを
よんでいると また どあを たたく おとが
します。

おかあさんが かえってきたのかなとおもって
おとこのこは どあを あけました。



「おかしを くれないと…」

「なに そのかっこう！ へんなのー」



おとこのこは

かぼちゃのおばけをみて

おおわらい。





かぼちゃのおばけは わらわれて きぶんが わるくなりました。

おこって かえろうとしたところに おとこのこの おかあさんが
かえってきました。

「あら おいしそうな かぼちゃ」

いたたたたー！



「あたまを ひっぱるなー！」



「こんな こわいところ にどとくるか！」

かぼちゃのおばけは とおいくにへ かえっていきました。

